

目 次

●「人生 100 年時代における生涯学習」	1
●令和 6 年度石川県民大学校・大学院 修了証書交付式・記念講演	1
●いしかわの魅力を再発見しよう！ 「ふるさとモット学び塾」	2
●「能登校講座」の今	2
●「あいあいネット」のご案内	3
●まなびすとルームからのご案内	3
●“出会い”(43)	4
●お 知 ら せ	4
●T o p i c s	4

生涯学習センター だより



No.291
2025

ISHIKAWA LIFELONG LEARNING CENTER INFORMATION

令和 7 年 11 月 21 日発行／石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引 4-17-1 石川県本多の森庁舎 TEL. 076-223-9571
生涯学習センター ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>

人生 100 年時代における生涯学習

石川県立生涯学習センター館長 岩木 智子



5 月に実施された石川県民大学校・大学院の修了証書交付式では 75 名の修了生に修了証書が手渡されました。県民大学校とは県民の皆様が「いつでも」「どこでも」学べる学習システムで、県や市町、民間教育機関などが連携して、県内全域で様々な講座を実施しています。受講された方には所定の単位が認定され、45 単位取得された方には、学長である知事から修了証書が交付されます。

修了生は平成 2 年度の開校以来 2 万人を超きました。中にはライフワークのように毎年様々な教養講座に参加されたり、さらには大学院で石川県に関連したより専門的な学識を深めたりし、何度も修了証書を手にした方々がいらっしゃいます。

また、生涯学習センターで行われる主催講座や、連携機関の実施する講座の中で興味のあるものに複数年にわたって参加しているうちに 45 単位取得となり、修了生となられた方々もいらっしゃいます。このように、人生の各ステージにおいて、自分の学びのペースに合わせて、県民大学校をご活用いただき、新たな学びを深めていっていただけることは大変うれしく思います。

今年の修了証書交付式の代表者の中に、7 歳と 9 歳の姉妹がいらっしゃいました。祖母も県民大学校の修了生であるご家族なのですが、主催講座である「ファミリー・カレッジ in 本多の森」や連携機関である石川県埋蔵文化財センターいしかわ子ども交流センターの講座に数年にわたって参加されたそうです。小学生での修了生は石川県民大学校の長い歴史の中でも少なく、新聞でも取り上げていただくこととなりました。

生涯学習は、人生 100 年時代において、生涯を通じたウェルビーイングの実現につながる重要な意義を有するものです。高齢者のみならず、子供や若者、社会人などが年齢を問わず学び続けられるよう社会教育の果たすべき役割は大きいと考えます。生涯学習センターは、今後も、あらゆる人々に学ぶ機会を提供できるよう、多様な学習ニーズに応える学びの機会の充実や、各地域における優れた取組の普及啓発の促進により、県民一人一人が生涯にわたり学び、自分の成長を実感できるよう、生涯学習を推進してまいります。

令和 6 年度「石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演」

令和 7 年 5 月 17 日(土)、「令和 6 年度石川県民大学校・大学院修了証書交付式」が石川県本多の森庁舎にて行われました。令和 6 年度修了生は、県民大学校が 612 名、大学院が 13 名で、大学校修了の畠山咲良さん・花さん姉妹、大学院修了の出村よし江さんが代表して、副学長の酒井雅洋県教育長から修了証書の授与を受けました。

修了生の多くは 60 歳以上ですが、畠山さん姉妹は小学生で、花さんは最年少の 7 歳の修了生です。また長年講座を受講し、何年もかけて修了された方や、毎年修了証書が授与されるのを楽しみにしている修了生もいらっしゃいます。



修了証書授与の後、大学校修了の倉元昭彦さん、大学院修了の山崎裕司さんが修了生代表として挨拶し、引き続き、ポスター等図案募集表彰式が行われました。

作品が令和 7 年度石川県民大学校のポスターとなった、最優秀賞の本多夏実さん(石川県立工業高等学校)のほか、2 名が表彰されました。

修了証書交付式に先立って行われた記念講演では、石川県輪島漆芸美術館館長 山崎剛氏が「漆の工芸が息づくまち－輪島と金沢－」と題し講演されました。受講生からは「漆の始まりから江戸中期、後半までの歴史と現代的な課題とその解決についてのヒントをたくさんの作品と共に紹介していただきたいへん勉強になりました。」

「輪島漆芸美術館に行って見学したいと思いました。」「塗りは繩文時代から使用されていた事に感動した。日本の伝統工芸として、世界展開をしてほしい。」などの感想のほか、震災・水害からの復興へのエールが寄せられました。



記念講演 山崎 剛 氏

いしかわの魅力を再発見しよう！

「ふるさとモット学び塾」

「ふるさとモット学び塾」は、各界の第一人者を講師に迎え、講演や現地探訪などを通じて様々な角度から「ふるさと石川」の魅力を紹介する講座です。

■ふるさとふれあい講座（金沢・能登・加賀会場）

専門家による石川の文化・歴史・自然・産業をテーマにした講演会です。

（一部講演は「あいあいネット」で配信しています。）

○「ユネスコ文化遺産登録「伝統的酒造り」と「石川の酒造り」について」(6/14 金沢会場第1回)

石川県の伝統的な酒造りと能登の酒蔵復興支援、伝統的な発酵食品開発、清酒の醸造技術を応用した商品開発まで幅広いお話をありました。

感想

- ・「伝統的酒造り」がユネスコ文化遺産登録になった理由がわかった
- ・能登復興の話は心があたたかく感じられた

○「古代氣多神宮の歴史を探る」(6/21 能登会場)

古代の能登と氣多大社について、国指定史跡寺家遺跡との関わりからのお話をありました。

感想

- ・氣多が交通・政治・外交の中心だったことを学んだ
- ・「寺家遺跡」という位置付けがよく分かった

○「山城と一向一揆について」(6/28 加賀会場)

一向一揆と対峙する富樫に関わる高尾城をはじめとした山城についてお話をありました。

感想

- ・山城とはどういう城だったのかよくわかった
- ・富樫氏、楳橋氏、県内の山城について学んだ

○「能登半島地震・豪雨の被災資料のレスキュー」

(7/26 金沢会場第4回)

令和6年能登半島地震で被災した文化財等の救援事業（文化財レスキュー事業）について、具体的な取組のお話がありました。

感想

- ・文化財保護の重要性を改めて認識する貴重な機会となった
- ・文化財レスキューを知る貴重な機会だった

■ふるさとふれあい現地講座

史跡や偉人ゆかりの地などを専門家と一緒に巡る講座です。

第1回 「重伝建地区・卯辰山麓寺院群を巡る」(5/23)

感想

- ・寺を実際に見学し、お話を聞いて良かった
- ・未だ知らない寺院が多く、大変勉強になった



第2回「『恐竜渓谷ふくい勝山』ジオパークを訪ねる」

(6/4)

感想

- ・山体崩壊など自然のパワーを感じた
- ・貴重な化石を見ることが出来て良かった



生涯学習センター能登分室

『能登校講座』②今

石川県民大学校能登校は、能登空港の開港に伴い、平成15年5月に開校して22年目となります。令和6年能登半島地震の影響により、現在休館が続いているが、能登地域住民の生涯学習の機会確保、被災地の子供たちの支援にむけて、「能登文化講座」、「被災地の子供への学習・体験活動の提供支援」、「能登校講座」などを開催しています。

■能登文化講座(7/26)

のと里山空港で2年ぶりに開催しました。大河ドラマ「べらぼう～萬重栄華乃夢嘶～」が放送されるなか、萬屋重三郎に関する著書を多く出版されている増田晶文先生による講演会を開催しました。演題は「戯家（たわけ）と反骨、萬屋重三郎」で、江戸吉原の生活、田沼の政治、歌麿や北斎の浮世絵など、豊富な話題に触れながら、重三郎の魅力について存分に語っていただきました。

受講者の大部分は奥能登在住の方々で、講座の開催をとても喜んでいただけました。

感想 「大河ドラマをより楽しく見ることができる」「萬重のプロデュース力の高さがよくわかった」「時代に合ったよい企画だった」「もっと聴きたかった」「ここで開催されることは復興の意味でも大きい」

■被災地の子供への学習・体験活動の提供支援

○マジシャンルパンのサイエンスマジックショー & マジック体験教室(8/18・19・22・29)

○選べるよくばりクラフト体験教室(9/27・28)

○オーケストラ・アンサンブル金沢音楽鑑賞教室(10/30)

○くぼたまさと わくわく講演会(12/6)

■能登校講座

○能登の歴史探訪講座(11/20)

石川県七尾美術館館長 東四柳 史明 氏

○古文書解読講座(11/21)

加能地域史研究会代表 木越 祐馨 氏

今後、さらなる講座の実施に努めています



「あいあいネット」は、県立生涯学習センターが運営する、石川県内の生涯学習情報をまとめたデータベースです。「何か受けてみたい講座はないか」「〇〇の話ができる講師はいないか」「××のビデオを探しているのだが」 そういう探しものをしている方は、ぜひ「あいあいネット」を覗いてみてください。キーワードやカテゴリーで検索でき、インターネット上で誰でも利用できます。主な内容を紹介すると…



○**講座案内** 県内で予定されている講座情報を探せます(「石川県民大学校受講案内」冊子と同じ内容です)。能登から加賀まで、美術館や博物館などの施設や、自治体や民間団体の講座を、一度に検索できます。もちろん、生涯学習センターの県民大学校講座も。令和7年度は、111の施設等が主催する710講座が載っています。

○**講師案内** お呼びがあれば出かけて行くよという、289人の講師が登録されています。講演の他に、スポーツ・手芸・料理の指導もあり。ご依頼は、当センターまなびすとルームへ。講師へおつなぎします。

○**視聴覚教材情報** 当センター所蔵の映像ライブラリーを検索できます。古い16ミリフィルムから、ビデオテープ、DVDやブルーレイディスクまで。学校教材から、一般映画、落語、アニメもあり。音楽CDもあります。個人も団体も利用可(16ミリフィルムは団体のみ)。館内視聴も貸し出しもできます。無料です。

○**今蘇る石川の記録映画** あいあいネットの画面上で、昭和の貴重な映像を見られます。県立社会教育センター(当センターの前身)が制作した、カラー映画の記録映画。昭和40~50年代の石川の自然、生活、祭り、工芸、食、産業などが、鮮やかに写っています。

○**講座ビデオ** 当センターは年に数回、各界の著名人を招いて大型講演会を開いています。そのうち31回分を映像化しました。あいあいネットの画面上で見られます。「金沢城の石垣と地震」「揚浜式製塩」「加賀野菜」「どぶろく作り」「一向一揆」「民謡」「ジェラート」などの、多彩なメニューがあります。

● 「あいあいネット」へのアクセスは…

URL <https://iinet.pref.ishikawa.jp/> もしくは **石川 生涯** で



からのご案内

● 改修工事に伴う利用停止等のお知らせ

まなびすとルームは、令和7年12月1日(月)から令和8年3月31日(火)まで、改修工事のため、御利用いただけません。御迷惑をおかけしますが、御協力お願いします。

なお、DVD等視聴覚教材の貸出は、2階生涯学習センター事務室(学習情報グループ)にて、令和7年12月15日(月)から、以下のとおり、御利用いただけます(視聴はできません)。

【利用時間】9時~17時

【休館日】

令和7年12月29日(月)~令和8年1月3日(土)

令和8年1月12日(月・祝)

● 視聴覚ライブラリーより、新着映像教材のご案内

生涯学習センター視聴覚ライブラリーでは、生涯学習やお子様の情操教育に役立つ映像教材を順次整備し、県民の皆様に**無料**で貸し出しています。

最近配架となりました教材の一部を紹介します。

・「学問と情熱 第34巻 渋沢敬三」…日本の民俗学のオルガナイザーと言われた渋沢敬三は、祖父に日本資本主義の生みの親・渋沢栄一を持つ実業家であった。その一方で青年時代にアチックミュージアムという博物館を自邸内に設け、生活の道具や生産の用具である「民具」を集めることに精力を傾げる。

・「学問と情熱 第36巻 木原 均」…コメ、トウモロコシと並ぶ世界三大穀物の一つコムギ。木原 均は染色体のセット「ゲノム」に着目。今も用いられるゲノム分析と呼ばれる手法は、80年も前に木原が確立した。遺伝の系統を推理し、交配を繰り返す地道な作業を経て、世界で初めてパンコムギの祖先を特定した。

このほかにも「いしかわ大百科」などの県制作番組が配架となっております。ぜひ、当センターホームページもしくは「あいあいネット」でご確認ください。

● いしかわマナビめーるのご案内

石川県立生涯学習センターでは、パソコンや携帯電話、スマホ(申し込みメールの送信元アドレス)に直接、講座情報などを電子メールでお送りするサービスを実施しています。お申込み方法は、皆様のパソコンや携帯電話、スマホなどから電子メールの件名を「メール申込み」とし、kendai@pref.ishikawa.lg.jpに

お名前を送信してください。



石川県立生涯学習センター まなびすとルーム
TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9004

人生100年時代のシニアライフ

あすなろ悠々塾講師 岸 弘市



今や人生100年時代といわれる超長寿社会になりました。平均寿命は男性が81.09歳、女性が87.14歳。100歳以上の人口が9万9,763人と、間もなく10万人になろうとしています。概ね65歳で一旦職業人生を終えた後に、約30年の人生の大平野が広がっています。この超長寿社会をどう生きるかは全国民の大命題となっています。

シニアライフを生き生きと元気に生きるために、身体的健康ばかりではなく心の健康も大切です。それには居場所づくりが必要であり、それは良いコミュニケーションによってできあがります。60歳を過ぎて一大決心をして産業カウンセラーの資格を取ったことで、カウンセラーとしてのコミュニケーション支援活動の場が飛躍的に増えました。

平成14年に県立生涯学習センターの県民大学校の教養講座を受講して以来、センターの種々の講座を受け、特に講師養成講座でプレゼンテーションの勉強をしたことが大きな力になりました。

80歳になって「健康生きがいづくりアドバイザー」の資格も取ることができ、地域貢献の志を同じくする友達にも恵まれ、これらの資格を活かして世のため人のためにお役に立たせていただく機会が増えてきました。生涯学び続けることの重要性と有難さを痛感しています。願わくば心身健康で、社会貢献できるシニアライフを送りたいと願っています。

お知らせ

令和7年度石川県民大学校大学院 「石川の博士」養成講座 論文発表会・記念講演

◇日時／令和8年1月23日(金) 13:30~15:30

◇会場／石川県立生涯学習センター

◇日程／13:30~14:00 論文発表会

令和7年度石川県民大学校大学院
受講生の代表者による発表

14:10~15:30 記念講演

演題 『銀嶺のかなた』と利家とまつ』

講師 かほく市史編纂委員

瀬戸 薫 氏

◇受講無料

◇申込み要 電子申請（先着60名）

◇受付期間 12月15日(月)～

令和8年1月16日(金)

◆お問い合わせ 社会教育グループ TEL 076-223-9572



令和7年度（第56回） いしかわ映像作品コンテスト

作品募集

題材は自由！日々の活動やふるさと等をテーマに、あなたの想いを「実際に役立つ視聴覚教材」として、映像で表現してみませんか。

◇応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

◇応募規定

①実写の動画を主体とする10分以内の作品

②他の映像作品コンクール等に応募または受賞した作品も応募可。

・詳しくは石川県視聴覚教育協議会ホームページをご覧ください。センターホームページのトップに関連リンクがあります。

◇応募締切／令和8年1月22日(木)（当日消印有効）

◆お問い合わせ（応募先）

石川県視聴覚教育協議会事務局

(学習情報グループ内)

TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585



~Topics~

10月25日(土)から11月7日(金)にかけて、「マナビィフェア本多の森2025」を開催しました。オープニングは、小立野小学校5年生による合唱です。澄んだ歌声が、館内に響き渡りました。その後の野菜販売は大盛況！あっという間に完売となりました。期間中の3つの体験教室、美川刺繡・組子細工・3D万華鏡作り、いずれもたくさんの方にご参加いただき大好評でした。クロージングは、北陸学院中学校ハンドベル部による演奏。アンパンマンのマーチに、小さな子供たちは大喜びでした。かつて本県に生息していたトキの貴重なはく製の特別展示もあり、皆さん興味深くご覧になっていました。来年の放鳥が、ますます楽しみです。最後に、ご協力くださいました連携機関や講師の皆様、ご来館・ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

石川県立生涯学習センター

〒920-0935 金沢市石引4丁目17-1

石川県本多の森庁舎2階

- ・総務グループ 076-223-9571 まなびすとルーム
- ・社会教育グループ 076-223-9572 TEL 076-223-9574
- ・学習情報グループ 076-223-9573 FAX 076-223-9004
- ・FAX 076-223-9585

石川県立生涯学習センター 能登分室

〒929-2392 輪島市三井町洲衛10番1

のと里山空港ターミナルビル4階

TEL 0768-26-2360 FAX 0768-26-2361



令和6年能登半島地震による影響のため、
能登分室は、現在休館しております。

ホームページURL … <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/> (もししくは で)